

新年へのメッセージ

社会福祉法人ねむの木福祉会

理事長 熊谷三樹雄

皆さま、新年明けましておめでとうございます。

今年が皆さまにとって良い年になりますようにお祈り申し上げます。

さて、ねむの木学園の当初の歴史を振り返りますと、1968年（昭和43年）1月に厚生省（現在の厚生労働省）から社会福祉法人ねむの木福祉会の設立認可を受けて、同年4月6日に日本で初めて障がいを持つ子の養護施設「ねむの木学園」を静岡県浜岡町（現在の御前崎市）に開園しました。1973年（昭和48年）4月には名称を肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」に変更しました。そして1979年（昭和54年）3月には文部省（現在の文部科学省）から学校法人ねむの木学園の設立認可とねむの木養護学校の設置認可を受け、同年4月に「ねむの木養護学校」を開校しました。5月には肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」の名称を肢体不自由児療護施設「ねむの木学園」に変更しました。

これらの許認可を取得することは業務上必須であったことから、ねむの木学園の創設者である故宮城まり子先生が先頭に立って交渉し、また学園では理事長、園長として、さらには子供たちのおかあさんとして、余人をもって代えがたい役割を果たされて、2020年（令和2年）3月21日、誕生日と同じ日にお亡くなりになられました（享年93歳）。

来年、2027年（令和9年）は故宮城まり子先生の生誕100年になりますので、私共は関連イベントの開催等を計画しており、内容が固まった時点で発表する予定です。皆さまにおかれましては、関連イベントへのご参加、ご協力等を頂ければ幸いです。

新年といえども、寒い日が続きますので、どうぞお身体には気を付けてお過ごし下さい。